

長崎市茂里町の県歯科医師会館で18日、「デンタルフェスティバルforキッズ」(長崎歯科衛生士専門学校主催)があり、約30人の親子が歯の役割や治療法への理解を深める実験をした。

夏休みの自由研究に役立ててもらおうと開き、今年で2回目。

参加者は、2グループに分かれて実験。歯型を取るための粘土のような「印象材」に関する実験をしたグループは、材料

## 歯の役割は？ 治療法は？



自分の歯の形を調べるために写真を撮ってもらった子ども  
|| 長崎市茂里町、県歯科医師会館

長崎でフェス

を練るために使う水を、コーヒーや炭酸飲料など約20種類の液体に変えて固まり方を検証した。別のグループは、石膏の模型や写真で自分の歯の形を確認したり、歯の役割を学んだりした。

印象材の実験をした市立戸町小6年の隈部結心(ゆづき)さんは、材料の一部がカルシウムを含むことから牛乳の方が水より固まると予想。しかし「水の方が固まりやすくて驚いた」と話した。(吉福秀斗)